

—発行所・連絡先—
相愛大学人文学部同窓会

〒541-0053
大阪市中央区本町4丁目1-23
TEL/FAX (06)6261-2040(直)
E-mail sj-dosokai@soai-jinbun-dosokai.org
URL <https://soai-jinbun-dosokai.org/>

南風

MINAMIKAZE

「南」は母校のある南港を、「風」は便りに通じ、「南港からの便り」という意味をこめて名づけました。



会長あいさつ

会長 一階由香

同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。この会報がお手元に届くころは、春の柔らかない風を感じているのでしょうか。

突然ですが、わたしは空を見ながら季節を感じる事が多いです。というより、季節の関係なく空を見ることが好きです、というのが正解かもしれません。空の色はもちろんです、雲の表情や、月の夜の雲の波、夕焼けや、朝焼けなど空の表情、色彩の豊かさは「雄弁」といってもよいでしょう。

そんな空の表情の豊かさを語ったひとりに「清少納言」がいます。そう『枕草子』の著者で有名な彼女です。わたしが現役の学生だったころ、相愛大学には田中重太郎先生という『枕草子』の研究者がいらっしゃいました。田中先生が清少納言を語る時、初恋の彼女を懐かしく思い出すような表情でした。平安時代の会ったこともない人をあんな風に語るなんて…と不思議な気分になったものでした。

そんな懐かしい気分を思い出すきっかけになったのが、約1年前に、大学南港学舎で行われた『春曙文庫セミナー』でした。ここでは記念講演だけでなく、大学所蔵の『枕草子』にまつわる蔵書の紹介もありました。春曙文庫とは田中先生の寄贈なさった資料を中心に、稀覯本など貴重な文献が収められたもので、相愛学園創立100周年事業の一環として、1988年に設立されました。

昨年は、平安文学がもてはやされた1年でした。清少納言に、紫式部（ここは、あえて清少納言を先に記します）、一条天皇に、藤原道長…。あのドラマで「〇〇推し」になって古典文学や歴史の扉を自ら開けようとした人も少なくないのではないのでしょうか。きっかけは大切です。でも、扉を開けてしまったらどんどん深みにはまるんですね、きっと。まさに「いみじうこそものぐるほしけれ」です。又まっていきますよぉ～！

せっかくなので、「又まるもの」「推し」を見つけてエネルギーを傾けましょう。ひいては、それが自らのエネルギーになります。

この第21号においては卒業生（34期生）がワーキングホリデーを楽しむ様子の特集しました。幅広く活躍する姿を頼もしく思うと同時に、無限の可能性をうらやましくも思います。



学長挨拶

学長 釈 徹宗

今年も『南風』の紙面でご挨拶させていただきます。学長の釈徹宗です。

人文学部同窓会の皆さまにおかれましては、平素より本学への教育・研究・社会活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

相愛大学では、学風に基づいた独自性の高いキャリア教育への取り組みを行っております。私たちの社会も様変わりが続けており、若い世代における仕事への考え方や就業形態も変化していることは、皆さまも感じになっておられることでしょう。そこで、1回生の時から、「私の人生にとって、仕事とは何か」「働くとは何か」「社会へ参加するとはどういうことか」といった問題に、主体的に向き合ってもらおうと考えています。これは人文学部だけでなく、全学的な取り組みとして実施していきます。

もちろん、人生はプラン通りに進むわけではありません。どんなにキャリアに関する知識や技術を身につけたとて、自分のデザイン通りに社会を生きていくことはできません。大切なことは時に「わからないので教えて下さい」「困っています、助けてください」と声を挙げることです。声を挙げられる場所が必要ですし、声を挙げるスキルも必要です。これも人文学や社会学から学ぶことができるはずです。

このような「答えがひとつではない問題」に向き合うためには、人文学部で行われているような領域の学びが不可欠でしょう。とにかく、これからも本学の人文学部がますます輝いてもらうために、現在の6つの専攻（日本文学／仏教文化／心理／国際コミュニケーション／歴史・サブカルチャー／ビジネス・社会）も補強や強化や新設をしていかねばなりません。いずれ人文学部の新しい動きに関して告知されていくこととなりますので、どうぞご注目ください。

これからも相愛大学人文学部では、目のいきとどく学部サイズを大切に、丁寧な教育・育成を実践してまいります。ご理解ご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

学部長挨拶

学部長 益田 圭



人文学部同窓生のみなさん、こんにちは。そしてお久しぶりです。みなさんはお元気にされているでしょうか。5年ぶりに人文学部の学部長をさせていただいている益田圭です。私は1996年に相愛女子短期大学で非常勤講師となり、2000年に短期大学人間関係学科に専任教員として赴任、そして、2005年から人文学部にお世話になっています。相愛とご縁ができて、もうすぐ30年になろうとしています。

先日、短期大学を卒業して人文学部に編入した卒業生が遊びに来てくれました。本当に久しぶりに会ったのですが、全然変わっていない姿を見せてもらい、とてもうれしく感じました。卒業生の皆さんに会うたびに、「立派になっているなあ、でも変わってないなあ」といつも感じています。

その卒業生が遊びに来ることを伝えてくれた電話での会話で「相愛大学の学部や学科がめっちゃ変わってる」とか「知ってる先生がもうほとんどいてへん」などと話してました。たしかに学部や学科はどんどん新しくなり、先生方や職員の方々も定年などで入れ替わっていきます。寂しいと感じることがあると思いますが、変わっていくことは「進歩」であり「進化」でもあります。

相愛学園はもうすぐ創立140周年を迎えます。人文学部も新しいことに挑戦したいと考えています。相愛大学人文学部の「進歩」や「進化」をした、でもどこか変わらない姿を同窓生のみなさんには温かく見守ってほしいと思いますし、応援していただければ嬉しいです。

先生から



佐々木 隆晃



卒業生の皆さん、お元気ですか。私は浄土真宗・仏教の授業を担当し、必修科目「建学の精神（宗教学・當相敬愛と浄土真宗Ⅰ）」や宗教行事をご一緒しました。

今年も南港で共に過ごした卒業生がキャンパスを旅立ち、まもなく初々しい新入生がやって来ます。必修科目はすべての学生が履修し、入学式などの宗教行事では慣れている人も初めての人も同じように浄土真宗にふれていただけます。皆さまにはどのような思い出があるでしょうか。

現在の本学の授業では建学の精神に関する必修科目の他に、「當相敬愛と浄土真宗Ⅱ」という選択科目があります。4回生の9月に集中講義で3日間、浄土真宗と宗教行事について学びます。初日は本町学舎で北御堂と相愛学園の歴史を学び、2日目は京都で本願寺のことを、3日目は南港で大学の歴史と礼拝施設を探访します。必修ではないので関心のある学生が、しかも4回生で少し大人に近づいた感性をもって宗教にふれています。卒業を間近に、それぞれ感じ入るものがあるようです。

皆さまは卒業後、浄土真宗や仏教の雰囲気を感じる機会がありますか？ 北御堂の1階には「北御堂ミュージアム」があって大坂と浄土真宗の歴史が展示され、そこに相愛学園の草創期が記されています。南港のキャンパスでは今も聖歌隊の歌声とともに宗教行事が行われています。

忙しい合間に、懐かしい宗教空間や相愛の空気にふれてみる機会をお持ちいただけるとありがたく存じます。

阿尾 あすか



同窓生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。2020年より相愛大学に入職いたしました、日本文学専攻の阿尾あすかと申します。

私の専門は日本古典文学、特に鎌倉時代の和歌を主としています。現在、私は、副学長の千葉真也先生、荒井真理亜先生と一緒

に、本学と国文学研究資料館の共同研究、「相愛大学『春曙文庫』に関する研究―書物と人」（代表千葉真也）に関わらせていただいています。当文庫は本学教授であった田中重太郎先生の旧蔵書を核とした貴重書コレクションで、『枕草子』に関わる一級資料を多く所蔵しています。同窓生の方の中には田中先生のお教えを受けた方も多くいらっしゃるかと思います。2024年度は、研究の成果として、国文学研究資料館で企画展示「枕草子と春曙文庫―田中重太郎旧蔵書資料を中心に」（2024年10月28日～12月16日）があり、多くの方に田中先生の『枕草子』研究にかけた熱意を知っていただくよい機会となりました。長年、春曙文庫の資料調査などにも関わってこられた、本学名誉教授の鈴木徳男先生からも田中先生のお話を色々とううことができ、田中先生の人となりにより身近に感じられ、大学教員としてもより尊敬の念が高まった日々でした。この共同研究も2025年3月をもって終了となりますが、これからも講義や春曙文庫の学内展示などを通して、当文庫のことを学内でも知っていただければと思っています。

田中先生のお教えを受けられた同窓生の皆様にも、いずれ同窓会でお会いした折に、ぜひ先生の思い出なども伺えればと思っています。また、近年にご卒業された皆様にも関心をお寄せいただければ幸いです。

卒業生から

カナダでのワーキングホリデー体験 第34期生 羽田 梨乃さん

英語が全くできない私が、異国の地で4ヵ月も生活できていることに、自分でも驚いています。休日には友達と楽しく過ごしており、それが今でも信じられないほどです。(もちろん友達とは片言ですが、英語でなんとかコミュニケーションを取っています(笑))

ある時、相愛大学で知り合った留学生の友達に、仕事があまくいっていないことを相談しました。その時、その友達は「無理しなくていいよ、世界は広いから」と言ってくれました。今、その言葉の意味を強く感じています。日本での「当たり前」が通用しないことも多いです、周りの目を気にする人も少ないです。自分の性別を自由に表現できるし、どんなファッションを楽しんでもいい。多文化が共存するカナダだからこそ、様々な価値観に触れられていると感じています。(これからもカルチャーショックをたくさん受けていきたいです!)

カナダの夏は短く、9月中頃から朝晩は冷え込みますが、その短い夏も思う存分満喫できました。特に印象的だったのは「ジョフリーレイクス州立公園」です。今まで見てきた自然の中で、一番美しい景色に感動しました。険しい山道をハイキングした疲れも、湖の絶景を見た瞬間に吹き飛びました。湖の水は氷河が溶けて流れ込んでいるため、とても冷たかったですが、友達は元気に泳いでいました(笑)。

10月からは語学学校を卒業し、仕事探しを始める予定です。英語スキルがまだまだなので、不安も多いですが、自分のペースを大事にしながら頑張りたいと思います。

羽田さんは本年2月よりバンクーバー日本語学校(VJLS)で日本語教師として活躍中です。この学校は1906年創立のカナダで最も歴史のある日本語学校です。



大谷紀美子先生 学園葬

昨年10月31日午後、南港学舎講堂において相愛学園学
園長 大谷紀美子先生の学園葬が執り行われました。

小春日和の穏やかな日に、先生のお浄土への往生をお
見送りすることができました。5月、6月の学園関係の
行事では元気なお姿を拝見しておりましたので、同窓会
関係者も一様に驚くばかりのお知らせを8月末にうかが
いました。

アイルランド音楽やインド舞踊に造詣が深く、わたしの
友人（彼女も相愛の同窓生）などは、「ダンスの先生」と
表現するくらいでした。

個人的には同窓会の仕事をお手伝いするようになってか
ら、先生とお会いし、お話をする機会が多かったのですが、
とても気さくで、
チャーミング、そ
れでいて包容力の
ある、とても大き
なかたでした。

ありがとうございました。
これから学園を、そし
て同窓会を、お見
守りください。

合掌



同窓会からのお知らせ

住所・氏名の変更について

学科名・卒業年・氏名（旧姓）・電話、FAX番号・郵便番号・
住所・会員番号（会報郵送時の封筒に記載）をこれまでと同
様、同窓会室宛にお知らせください。ハガキ、FAX または同
窓会ホームページのご住所変更フォームにてお願いします。

〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23
相愛学園内同窓会室 / FAX 06-6261-2040

◆令和7(2025)年 オープンキャンパス日程◆

日 程	
3月23日(日)	8月17日(日)
5月25日(日)	8月31日(日)
6月15日(日)	11月2日(日)
7月20日(日)	12月7日(日)
8月3日(日)	(日程は予定日です)



詳しくは大学の入試情報サイトでご確認ください。
<https://www.soai.ac.jp/examinee/>

● 积学長最終講義 ●

今号でもご挨拶くださいました学長の积徹宗先生が、
令和7年3月末をもってご退任、4月からは相愛学園学
園長として就任なさることはすでに発表されていると
おります。

2月28日(金)、学園長就任を記念した最終講義が行わ
れました。12月中旬に発表されるや否や、あっという間
に定員の倍以上となる申し込みがあり、締め切り期日を
待たずして申し込み締め切りとなったそうです。穏やか
にして、鋭く的確な発言をなさる先生の人気を裏付ける
ものと思われます。

当日は前半に「比較宗教思想のダイナミズム～向き・幅・
揺れ～」と題した講義、後半には、内田樹先生、名越康文
先生との鼎談に、時の経つのを忘れるほどに引き込まれた約
2時間でした。积先生のお話は浄土真宗や仏教にとどま
らず、宗教家としての幅広い見識と深い洞察が聴衆を
魅了します。

卒業生にも人気の积先生
です。お立場が変わりますが、これからもどうかよろ
しくお導きください。



▶ 人文学部イベント情報

2025年度も人文学部では知的好奇心をくす
ぐるような楽しい公開講座を開催予定！
詳しくは大学ホームページでご確認ください。



<https://www.soai.ac.jp/information/event/>

新幹事紹介

37期生 令和5(2023)年度卒業

VU XUAN CHINH

川端 ゆりあ
菊川 岳秀
田中 歩佳
早田 優哉
湯田 篤斗
米島 彩花
(五十音順)



編集後記 editorial note

卒業・入学のシーズンを迎えましたが、みなさま
いかがお過ごしでしょうか。第21号をお手元にお届
けいたします。

相愛大学に人文学部が設置され1期生が入学して
から昨年で40年が経ち、たくさんの卒業生が各方面
でご活躍になっています。もしも会報に原稿をお寄
せいただける方がいらっしゃいましたら、同窓会ま
でご連絡くだされば幸いです。

過去帳 納め

同窓会にお知らせがあった物故者のお名前（同
窓生）を、毎年2月に大谷本廟の学園関係者
過去帳に記入し、納めさせていただいて
おります。

編集委員

磯本 和 一階由香 DO THI THANH LOAN
中村則子 松原美佳 安田圭佑 山田容子
(五十音順)